

議会だより

6月定例会 No.8
平成19年8月1日



新議会の体制決まる

ページ

2

地震被害の早期復旧を目指して

6

被災者の生活再建状況を把握せよ
(一般質問)

10



星に願いが届くといいな (上熊野保育園 セタ集会)

新町議会の体制決まる

6月 定例会(6月1日~18日)

活力ある まちづくりに努力



田中副議長(左)と林議長(右)

議長に 林 一夫 議員 副議長に 田中 正文 議員

改選後、初めての議会となる定例会が6月1日から開かれ、定例会初日には、議長・副議長の選出、※常任委員・議会運営委員の選任、特別委員会の設置・選任などが行なわれました。また、議長・副議長の選出は、指名推選によって行われ、議長には林 一夫議員が、副議長には田中 正文議員がそれぞれ当選しました。

(※常任委員会とは、多数の議案等を能率的かつ、専門的に処理するための委員会です、それぞれの部門の調査、議案・請願等の審査を行います。各委員会の委員は6人ずつとし、その所属委員は3ページに紹介してあります。)

副議長の要職歴

平成17年9月から新町議会生活環境等特別副委員長職をはじめ、旧町教育民生常任副委員長、議会広報特別副委員長を歴任。
通算2期。

議長の要職歴

平成17年9月から新町議会総務常任委員職をはじめ、旧町副議長、予算特別委員長、議会広報特別委員長、総務常任副委員長を歴任。
通算4期。

総務 常任委員会

総務課、富来支所、企画財政課、監理課、
税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員
の所管関係及び、他の委員会の所管に関しな
いこと。



委員

田中 正文



副委員長

松浦 恒義



委員長

越後 敏明



委員

山本 辰榮



委員

櫻井 俊一



委員

寺岡 真貴子



委員

下池 外巳造



副委員長

戸坂 忠寸計



委員長

橘 照茂



委員

稲村 幸雄



委員

林 一夫



委員

須磨 隆正

教育民生 常任委員会

住民課、子育て支援課、健康福祉課、生活
安全課、富来病院、学校教育課、生涯学習課
の所管関係。



委員

小田 芳治



副委員長

南 政夫



委員長

富澤 軒康



委員

木村 正男



委員

久木 拓栄



委員

辻 武美

産業建設 常任委員会

商工観光課、農林水産課、建設課、上下水
道課、農業委員会の所管関係。

6月 定例会

議会運営委員会

議会の日程、議案・陳情等の取り扱いなど、議会の運営や議長の諮問に関すること。

委員長 小田 芳治
副委員長 松浦 恒義
委員 辻 武美
委員 久木 拓栄
委員 木村 正男
委員 山本 辰栄

特別委員会

常任委員会とは異なり、特定の事件の審査や調査を行うもので、必要と認めるときに議決によって設置します。

原子力発電所対策
原子力発電所の安全対策、防災計画等の調査

委員長 松浦 恒義
副委員長 小田 芳治
委員 下池外巳造
委員 田中 正文
委員 寺岡真貴子
委員 櫻井 俊一
委員 林 一夫
委員 久木 拓栄
委員 稲村 幸雄

生活環境等対策

生活雑排水、廃棄物処分等の生活環境、下水道事業推進の調査。

委員長 辻 武美
副委員長 越後 敏明
委員 南 政夫
委員 橘 照茂
委員 須磨 隆正
委員 富澤 軒康
委員 戸坂忠寸計
委員 木村 正男
委員 山本 辰栄

能登半島地震災害復興対策

能登半島地震災害復興・復興支援等に関すること。

委員長 山本 辰栄
副委員長 稲村 幸雄
委員 南 政夫
委員 橘 照茂
委員 下池外巳造
委員 須磨 隆正
委員 越後 敏明
委員 田中 正文
委員 寺岡真貴子
委員 富澤 軒康
委員 櫻井 俊一
委員 松浦 恒義
委員 戸坂忠寸計
委員 小田 芳治
委員 辻 武美
委員 久木 拓栄
委員 木村 正男

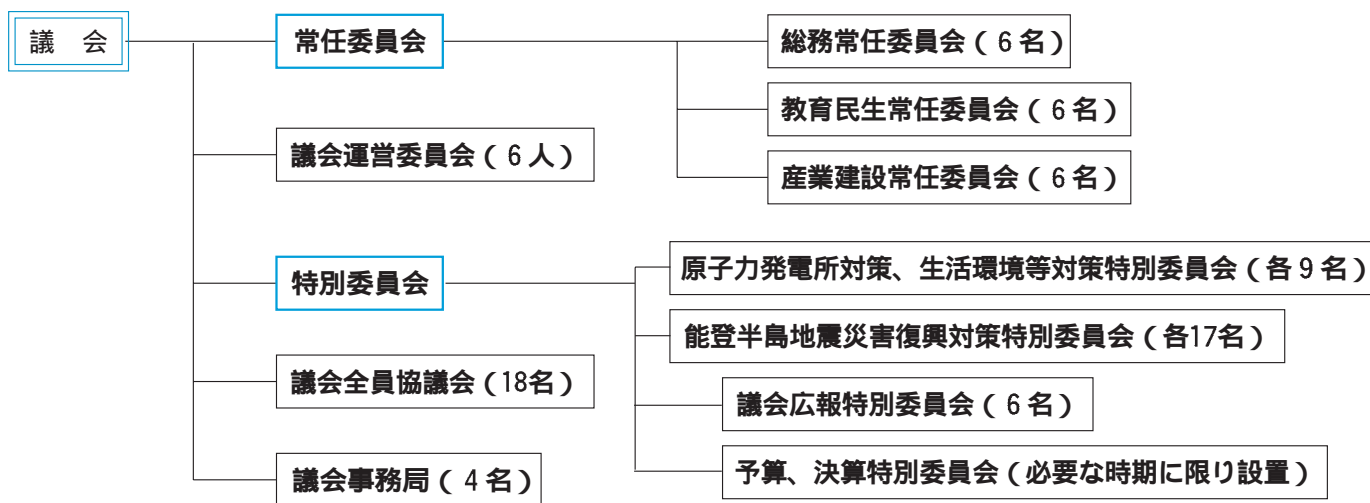
議会広報

議会広報の発行に関する調査及び編集。

委員長 橘 照茂
副委員長 田中 正文
委員 越後 敏明
委員 富澤 軒康
委員 櫻井 俊一
委員 戸坂忠寸計

議 会 機 構

議会の機構は下図のようになっており、様々な委員会等でそれぞれの部門の調査や審査を行っています。



羽咋郡市広域圏議会議員の選挙
 改選に伴い、新たな
 広域圏議会議員の選挙
 が行われました。
 選挙は指名推選で行
 われ、次の4名が当選
 しました。



久木 拓栄 議員



櫻井 俊一 議員



稲村 幸雄 議員



山本 辰榮 議員



林 一夫 議員

改選に伴い、石
 川県後期高齢者医
 療広域圏連合議会
 議員の選挙を行いま
 した。

選挙は指名推選
 で行われ、林一夫
 議員が選出されま
 した。



辻 武美 議員

議会選出の監査委員
 に辻 武美議員を選出
 することに同意しまし
 した。

**県後期高齢者医療広域連合
 議会議員の選出**

監査委員を同意

地震被害の早期復旧を目指して

地域の防火防災意識の向上に向けて



7月8日に行われた自衛消防隊操法大会で操法を実施する隊員ら

改選後初めて開催される6月定例会では、平成18年度各会計補正予算など専決処分
報告27件、条例の一部改正・廃止が6件、
平成19年度一般会計補正予算1件、ケープ

ルテレビ事業特別会計の設置に伴う予算1
件、工事請負契約の一部変更1件、同意1
件を審議し、それぞれ全会一致で可決・同
意しました。

19年度予算

能登半島地震災害復旧費及びその関連経費を計上 (4月1日専決分)	水道会計 簡易水道事業会計 2千947万円増額
一般会計 8億5千379万円増額	水道会計 収益的支出 848万円 資本的収入 130万円 資本的支出 480万円増額 (以上、全員賛成)
農業集落排水会計 1億9千256万円増額	一般会計 2億8千69万円増額 県が補正予算の専決処分を行った能登半島地震災害対策経費に係る関連事業の予算計上。
公共下水道会計 730万円増額	一般会計 (4月17日専決分)
地域し尿処理会計 2千169万円増額	

災害復旧費や緊急を要する事業等の補正
(5月1日専決分)

一般会計

6億8千229万円増額

国民健康保険会計

3千万円増額

後期高齢者医療制度が創設されることに伴う電算システムの改修経費を追加。

農業集落排水会計

1億8千897万円増額

公共下水道会計

2千907万円増額

簡易水道事業会計

1億1千202万円

鷺野屋及び地保地区に簡易水道を供給するための所要経費を計上。

水道会計

水道未普及区域の大笹波に給水するための所要経費計上。

収益的支出190万円、資本的収入6千343万円、資本的支出7千876万円

富来病院会計

収益的支出600万円増額
病院施設被災箇所修繕経費の計上。

(以上、全員賛成)

条例制定と改正

町長の給料

30%のカット

町長の給料を6月から3カ月間、月額で30%減額するもの。

ケーブルテレビ事業

特別会計を設置

一般会計から消費税法上の特別会計の事業に変更することにより、課税事業者となり、消費税の還付が受けられるもの。

歳入歳出予算の総額は、22億2千858万円。

都市計画画税条例

郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の改正に伴うもの。

国民健康保険税

限度額56万円に一世帯あたりの課税限度額を、本年度から53万円から56万円に改めるもの。

笹波地区(大笹波)を給水区域に

水道未普及地区の笹波地区(大笹波)の一部に水道を供給するため、給水区域を改めるもの。

都市計画審議会条例

委員定数を改めるもの。

国保運営協議会

委員を追加

国民健康保険運営協議会の委員に被用者保険等保険者を代表する委員を1名加えるもの。

家畜導入事業資金供給事業基金条例の廃止

国・県基金の全額返納と一部畜産農家の貸付未納金が完納されたため基金条例を廃止。

税条例の一部改正

たばこ税の税率改正、住宅のバリアフリー改修に係る固定資産税の特別措置の創設、租税条約改正に伴う保険料に係る個人住民税の課税の特例の創設など。

(以上、全員賛成)

契約変更

高浜中学校の解体撤去校舎一部にアスベスト含有物が吹き付けされており、適切な処理のため483万円を増額するもの。
契約金額3千822万円
大和建设(株)。

(全員賛成)

人権擁護委員に2人を推薦



大野 勇さん(西海風無)



三沖 博さん(日下田)

任期満了となる人権擁護委員に大野勇さん、三沖博さんの再任が諮問され、適任とする意見

見を答申しました。

(全員賛成)

総務



能登空港の利用の促進を図り、能登地域の発展に寄与することを目的に能登空港利用助成金制度がある。

委員長 越後 敏明
副委員長 松浦 恒義
委員 田中 正文
// 寺岡真貴子
// 櫻井 俊一
// 山本 辰榮

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。主な審議内容等を報告します。

能登空港利用助成金の実績は

問 能登空港利用助成金の実績は。

答 平成18年度は、大人743人、子供27人、総件数770件で266万円である。

問 今後、町の財源について、特別なものはどの程度見ているのか。

答 専決等で財政調整基金残高が1億3千万円程度になっており、災害復旧費がかさめば、既存の事業の縮小等考えていかなければならない。

問 土地売り払い収入8件の詳細は。

答 8件の面積が、4千505㎡、金額3千5万円。その他3件の法廷外公共物209㎡、78万円である。広報により公募した。

問 売り払いの広報期間は。

答 広報に掲載してから3週間後である。

要望 土地の売り払いに關しては公平に公募してもらいたい。

介護保険料の滞納は 増えているのか

委員長 橘 照茂
副委員長 戸坂忠寸計
委員 下池外巳造
// 須磨 隆正
// 林 一夫
// 稲村 幸雄

教育民生

問 介護保険の滞納は増えているのか。

答 40歳から65歳まで健康保険税と共に納付されているが、国民健康保険税同様滞納となるものがある。

問 介護保険料の滞納が増えると、介護保険料を上げることになるのか。

答 年金から差し引く方には滞納はないが、普通徴収で滞納が発生し、介護保険



介護制度が必要になる前に、現状を改善し日常生活の安定と向上のため、検診は是非受けてほしい。

の算定にも影響を及ぼすことになる。今後も徴収に努力していきたい。

問 医療給付の大幅な減額理由は何か。

答 国保には、これといった原因は見当たらないが人間ドック等検診事業の効果があるかもしれない。

問 自己負担増のため病院へ行かないと聞くが。

答 病院を受診する方が減っていることもある。



震災復旧は緊急度の高いものから着手する。写真は、町道東小室里本江線、給分地内。

委員 長 富澤 軒康
副委員 長 南 政夫
委 員 小田 芳治
// 辻 武美
// 久木 拓栄
// 木村 正男

産業建設

災害復旧 緊急度の高いものから着手

今定例会に付託された報告18件、議案3件について審議した。
審議に際し、委員からは志賀の郷運動公園管理事業、農産物直売所管理経費、農業集落排水事業災害復旧に伴う補償金等について質問があり、担

当課長から詳細な説明を受けた。
その他、能登半島地震に伴う各課所管施設の被害状況及び復旧状況等について説明があり、緊急度の高いものから6月中旬に着手したいと報告を受けた。

議員の一言コーナー

北陸電力は信頼回復に地道な努力を

6月30日の新聞の社説に、様々な人々の苦勞を経てできた原発に、北陸電力が井戸を掘つたときのことを忘れてはならないというような記事があったことを記憶している。

町民の信頼を大きく損ねた志賀原発1号機
の臨界事故隠して今、北陸電力は町民に対し、再発防止策を説明し、信頼回復に向け、理解を求めべく奔走している。

執行部はもちろんのことと全社員4千人はそのための地道な努力をしていたいただきたい。私も議会議員としても、更なる厳しい監視の目を向けていきたいと思っっている。

(松浦 恒義)

第1回(7月18日) 臨時会

7月18日、第1回臨時会が開かれ、志賀町ショートステイ建設工事請負契約など議案7件を審議し、いずれも全会一致で可決しました。

- | | | |
|---|---|---|
| ◇志賀町ショートステイ建設工事
1億6千800万円
(株)治山社 | ◇工事
1億269万円
寺井建設(株) | ◇3億4千230万円
南建設(株) |
| ◇都市計画街路福野神代線今市橋築造工事
(その2)
2億2千207万円
南建設(株) | ◇統合中学校建設工事
(グラウンド整備)
1億1千402万円
大和建設(株) | ◇公共下水道事業中央水処理センター(前処理・混和池)電気設備工事
9千684万円
(株)日立製作所金沢支店 |
| ◇赤崎漁港海岸高潮対策
南建設(株) | ◇公共下水道事業富来浄化センター土木・建築工事 | ◇公共下水道事業中央水処理センター(前処理・混和池)機械設備工事
1億1千492万円
共和化工(株)北陸営業所 |

町政を問う!

3議員が登壇

いっぱい

質問

〈一般質問の会議録を全文公開〉

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、一般質問の「会議録」を全文公開しています。ぜひ、ご覧になってください。



平成9年1月のナホトカ号重油流出事故では多くの町民が寒風吹く中、重油の回収作業にあたった。(赤住海岸にて)

ナホトカ号事故の義援金は どうなっているのか

下池 外巳造 議員



問 10年前に『日本海ナホトカ号重油流出事故』があり、全国から沢山の義援金が寄せられ、基金として積み立てたと聞いているが、現在、どうなっているのか。

また、今の震災にどのように使われるのか。

災害復旧費の財源の一部として基金のほぼ全額を充てる

【答弁・細川町長】

答 義援金を原資に、旧両町でそれぞれ平成9年度に災害緊急支援基金を設置し、その後、定期利子分、油濁被害に係る損害賠償金を積み立てて、18年度末には3千681万円余りとなった。

今回発生した地震では、災害復旧費に総額8億5千379万円となる一般会計補正予算を4月1日付けで専決したが、財源の一部として基金のほぼ全額となる3千6百万円を繰入し、残額は現在31万円余りである。

義援金の一部で若者が計画するイベントをさせてはどうか

問 今回の震災を受けて「やっちゃん祭り」が中止となり、若者の間で『能登を元気に』とイベントを計画していると聞くが、義援金の一部や予算を計上して、若者に町の再生をさせてはどうか。

復旧、生活支援を優先する

【答弁・細川町長】

答 義援金は、震災からの復旧や住民の生活支援に優先的に使用したい。若者をはじめとする各種団体の元気な志賀町をアピールする活動は、内容を検討して別途考えたい。

被災者の生活再建状況を把握せよ

寺岡 真貴子 議員



問 公営住宅建設等の施策が必要なのかどうか等、今後の具体的な取り組みに向けての判断の基準とするためにも被災者の生活再建状況をきつちりと把握すべきだ。



鶴野屋の設置された仮設住宅。入居者は不便な生活を強いられている。

支援制度を説明し、再建方法について個別に対応している

【答弁・細川町長】

答 6月6日現在で住家の全壊が10棟、半壊が198棟。本町では、住家が全半壊の被害の方一人ひとりに生活再建支援制度や県・町の支援制度を説明し、再建方法についても個別に対応している。

防災メール配信を活用せよ

問 防災メール配信を活用し、情報の迅速な共有化を計るべき。

調査研究を進めたい

【答弁・細川町長】

答 携帯電話の不感地帯の問題、高齢者の携帯電話の普及や取り扱いの問題はあるものの、複数の情報媒体を用いることはやぶさかでない。

今後整備を進めていく

CATVも媒体の一つと位置付けして調査研究を進めたい。

防災計画を現状に即したのに見直すべきだ

問 震災後の対応を検証し、防災計画をより実際の、現状に即したものに直すべきである。

問題点を洗い出し、見直す

【答弁・細川町長】

答 能登半島地震での対応状況における問題点を洗い出し、地域防災計画を見直す。

職員の初動体制の確立、それぞれの業務についての周知徹底、修正された地域防災計画の検証、住民の避難や避難所の開設の防災訓練等を実施したい。

町長の責任をどのように考えているのか

問 一連の事柄について町長の責任をどのように考えているのか。

任期を全うするのか、それともいずれば辞職するのか明言いただきたい。緊急の課題に全身全霊を賭けて取り組む

【答弁・細川町長】

答 然るべき時期に町長職を辞したいと考えていたが、能登半島地震や志賀原発の臨界事故隠ぺいなど、住民生活をおびやかす大きな問題が発生し、これらの対応・対策が緊急の課題であり何もかも投げ出すことは許されないと判断した。全身全霊を賭けて取り組む。時期がくればきちんと対応したい。自身の進退については、自身が判断し決断する。



被災し全壊した家屋、基礎、よう壁が傾き危険と判定された住宅など被害が集中した鵜野屋地区

震災復興の施策として 輪島方式を検討せよ

南 政夫 議員



問 輪島市では、自宅の再建が難しい方のために解体された自宅の跡地に公営住宅を建てることを検討していると聞くと、当然でもこの案を検討すべきでないか。

地域住民が公平、平等な行政支援を受けられるよう努めたい

【答弁・細川町長】

答 住宅復興に関する意向調査の結果を踏まえ、必要と判断したときは、地域住宅交付金事業等も含めた施策を県の指導を受けながら進め、地域住民が公平、平等な行政支援を受けられるように努めたい。

能登を元気にするため能登有料道路の無料化を県に強く要望すべきだ

問 能登を訪れる人が大変減っていると聞く。震災から少しでも早く能登を元気にするため、早急な能登有料道路の無料化を県に強く要望すべきではないか。

今後も強く要望したい

【答弁・細川町長】

答 地震の風評被害対策として、大変有効であり、県へ地震対策要望活動の中でも特に強く要望してきた。今後も継続して要望していきたい。

その他の質問

問 人が多く集まる施設小・中・高校にAEDの設置を望む。

答 直ちに公共施設すべてに配備はできないが、学校等、各施設内での必要性を考慮しながら、順次、配備したい。

問 「放課後児童クラブ」と「放課後子供教室」との互いの良い所を取り入れた一体的なものにできないか。

答 志賀町放課後子供クラブ地区実行委員会を立ち上げ、町の実態に即したプランを策定したい。

問 赤ちゃんが生まれる前から、いつでもどんなことでも相談できる窓口施設が必要でないか。

答 保健福祉センター、各保育園、子育て支援課が保護者の相談窓口である。子育てに関する指導教室、家庭訪問等に取り組みしており、気軽に相談にも応じている。啓発活動も順次行いたい。

問 全国学力テストの目的は何か。

答 国では教育の結果を検証し、改善を図ること。教育委員会としては全国との比較により、町全体各学校、個々の状況を把握分析し、町としての学力向上策に生かしていく。

問 道徳教育における教育長の考えは。

答 人づくり、道徳心の育成は大変重要。全ての教育活動で教師自らが率先垂範し知行合一できるように、更なる充実を図りたい。

災害復旧・復興支援に取り組み

鵜野屋、領家地区の仮設住宅を視察



能登半島地震災害による復旧・復興を付託事項とした能登半島地震災害復興対策特別委員会が、6月1日、議会に設置されました。

仮設住宅の状況について視察する委員長ら。今後、被災者の再建支援などの課題に取り組みたい。

6月8日には、正副委員長及び議長が、能登半島地震で住宅に被害を受けている方々の状況を把握するため、領家町と鵜野屋の仮設住宅を視察しました。

現在、仮設住宅には、領家町の仮設住宅に9世帯32人、鵜野屋に8世帯19人が入居しています。

6月11日には、委員会が開催され、町から能登半島地震に係る現状等の説明を受けました。委員からは被災者支援、早期の復旧・復興対策等に対する質問、要望が多数出されました。

地震による被害修復は長期にわたることは必死であり、今後、委員会では被災者の再建支援など多くの課題に取り組んでいきたいと思えます。

新しい議会広報委員です

開かれた議会を目指し

広報特別委員会のメンバーが改選によって新しい顔ぶれになりました。議会だよりや議会に対して開かれた議会を目指し、感想をお寄せいただき、この議会だよりは今後、町民の声を反映する紙面



写真左から、戸坂委員、越後委員、橋委員長、田中副委員長、富澤委員、櫻井委員

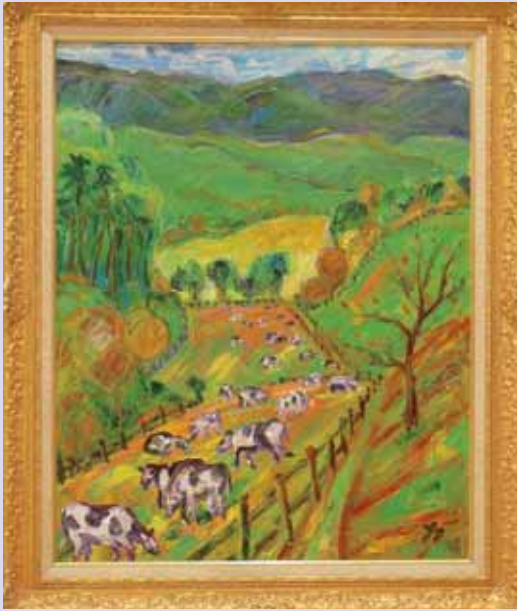
第18回富来を描く美術展「テレビ金沢賞の作者」に聞く!

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。
 昨年の11月には第18回の審査が行われ、次の方がテレビ金沢賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。



加原 和夫さん(白山市)

毎年出品していますが、富来には感動させるモチーフが沢山あります。今年も富来放牧場へ行き、牛が傍へ来てくれたようやく仕上がりしました。牛さん、ありがとうございました。



題名「富来放牧場」

震災支援に感謝します

福井県高浜町で姉妹都市交流

能登半島地震が発生した翌日には、いち早く姉妹都市の福井県高浜町から、ペットボトル、毛布の支援物資のほか、給水車が応援に駆けつけ、町内で支援活動をされたこと、議会として大変感謝しています。

当議会では、高浜町から招待を受け、『式年大祭』の最終日となる6月20日、高浜町を訪れ、震災支援のお礼を述べました。

佐伎治神社の『式年大祭』は、通称『七年祭り』とも言われ、その名の通り7年に1度、旧暦6月卯の日から酉の日まで7日間にわたって繰り広げられる古式ゆたかな神事です。

当日は、町民の皆さんの歓迎を受けながら、華やかで力強い勇壮なお祭りを堪能しました。

福井県高浜町とは、旧志賀町が平成2年11月3日に姉妹都市の調印を行ない、今まで青少年、スポーツ、文化活動など各分野にわたって交流を深めてきました。原子力発電所立地や海水浴場による観光面など共通点もあり、この交流事業により更に両町の活性化が図られることを期待しています。



刀やなぎなたなどで立ち回りを演じる「太刀振り」が奉納された。

傍聴におこしく下さい

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞かれます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。

〈一般質問の会議録を全文公開〉

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、本会議の内容全文を記録した「会議録」や賛否の一覧表を公開しています。もっと詳しく内容を知りたい方は、下記アドレスにアクセスした後、議会情報から閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.town.shika.lg.jp>

議会広報特別委員会

委員長	橋 照茂
副委員長	田中 正文
	越後 敏明
	富澤 軒康
	櫻井 俊一
	戸坂 忠寸計